

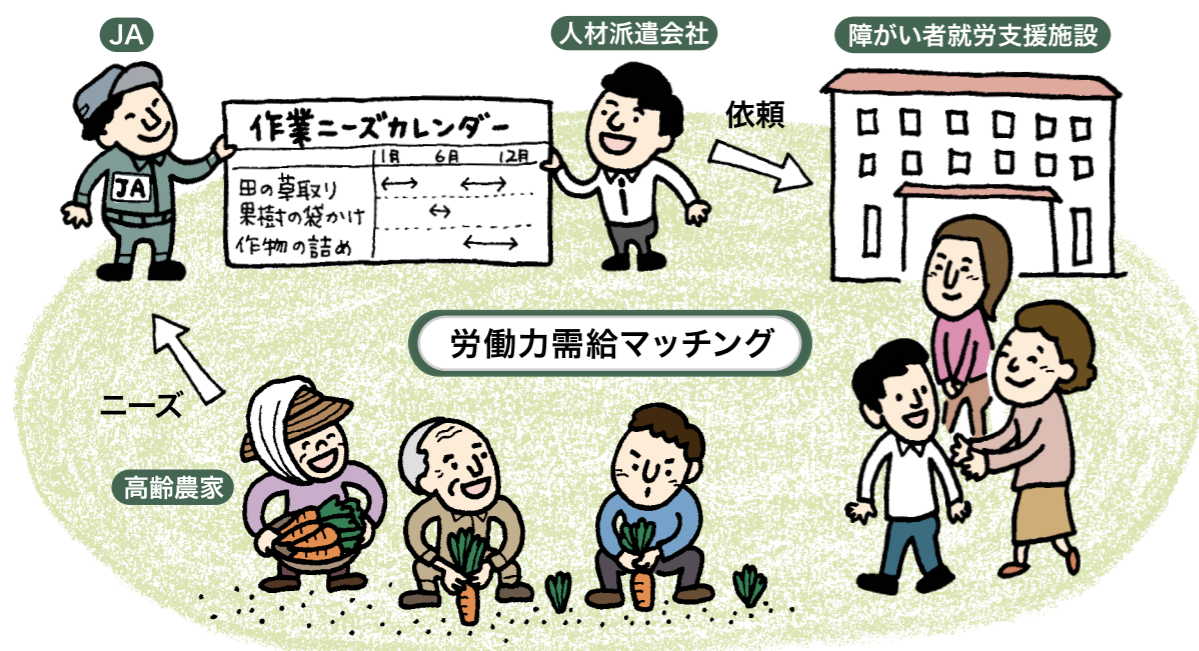
農業

商業

高齢化率が高い農村地域における 労働力需給マッチングサービス



- 高齢化により実施できない農作業をお手伝い
- 障がい者就労支援施設に請負可能な作業を紹介
- 両者間の労働力需給ニーズの調整を事業化



シナリオ

- 高齢化率が高い農村地域では人手不足が常態化し、煩雑な軽作業を敬遠する高齢農業者は作業規模・栽培作物を拡大できない状況にあり、耕作を放棄する農地が増えつつある。
- 一方、障がい者就労支援施設においては、高度な作業・重労働はできないが、軽作業・単純作業は請け負うことができる労働力（身体障がい者・知的障がい者等）が、安定した就労を希望している。
- この需給のミスマッチに着目した人材派遣会社がJAと連携し、高齢農業者の作業ニーズと障がい者就労支援施設における軽作業の請負ニーズのマッチングを行うサービスを開発することとなった。

役割

JA

- 様々な作物を栽培する組合員がいるメリットを活かし、栽培作物ごとに必要な農作業を細分化し、高齢農業者の意向（依頼したい作業と時期）を聴き取って「作業ニーズカレンダー」を作成する。

人材派遣会社

- JAが取りまとめた「作業ニーズカレンダー」をもとに、請負希望の障がい者就労支援施設のニーズを確認してマッチングを行う。

障がい者就労支援施設

- 障がい者が請け負うことのできる農作業の選別を行う。
- 障がい者に必要な労働環境について、JAにアドバイスをを行い、障がい者の作業環境整備を側面的に支援する。

効果

JA

- 高齢農業者の人手不足を解消し、作業規模・栽培作物の拡大を支援することで、組合員の農業所得が向上する。
- 地域福祉に貢献することにより、JAの組織イメージを向上させる。

人材派遣会社

- 高齢農業者と障がい者就労支援施設という新規顧客の開拓により、仲介手数料が発生し、売上げが向上する。
- 地域農業と福祉施設に有用なサービスを提供することで、企業の社会的貢献を実現し、企業イメージを向上させる。

障がい者就労支援施設

- 障がい者の請負作業が増加し、障がい者の所得が増加する。
- 障がい者の就労促進が期待できる。